

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 31日

事業所名 みらいりんく糸満大里

保護者等数(児童数) 19名 回収数 14 割合 74%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1			・十分なスペースが確保できていると思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1		・時より連絡時に不便に感じる時がある。こちらの都合で申し訳ないです。	・児童発達責任者1名、保育士1名、児童指導員3名(常勤1名、パート2名)、指導員2名で職員の配置数は適切だと思います。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	7			・平屋の為室内はバリアフリーですが、玄関先に2段階があるので、子ども達の安全に配慮しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14				・今後も子どものニーズや保護者の方のニーズに合わせた個別支援計画を作成してまいります。 ・個別支援計画の丁寧な説明を心掛けてまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	2			・季節に合わせた活動や行事に合わせたおやつ作り、長期休暇時は、平日に行けない場所への外出支援など飽きのこない活動内容を工夫しています。 ・「創作活動」「自立支援活動」「余暇活動」「地域交流」の視点で活動の工夫に努めております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	9	1	・今はコロナも若干落ち着いてきているのか状況は不明ですが、次はあるかも？	・交流のみを目的とした活動は行っていませんが、外出時に二次的に交流が生まれる場面がありました。今後は、児童館等積極的に利用し、障がいのない子どもたちとの交流を深め地域に根ざした活動を行っていきたいと思います。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1			・契約時に丁寧な説明を心掛けております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14				・連絡帳や送迎時に活動の様子を伝えていますが、十分ではない時もある為より丁寧な説明を心掛けます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1		・相談する度、先生方が親身に聞いて下さるので気持ちが救われます。 ・定期的に相談に乗ってもらっている。	・保護者から相談があった場合、直接面談や電話などで状況確認や助言を行っています。今後も相談しやすい雰囲気を中心、保護者支援を丁寧に行います。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	11	・コロナ渦でなくなっている状況	・2023年1月に周年祭を開催しました。 ・コロナ渦で保護者会の開催ができずにいましたが、2023年度より再開したいと思います。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1		・苦情があった場合は、迅速かつ丁寧に対応を致します。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1		・日々の活動を連絡帳や送迎時にお伝えしています。 ・連絡事項等は、一斉Lineを利用し連絡漏れの無いよう心掛けております。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14		・ブログを見ているので安心して預けることができます。	・ホームページの閲覧を勧めてまいります。
	14	個人情報に十分注意しているか	13	1		・個人情報に記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。 ・職員採用時に誓約書を記入してもらっています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	3		・マニュアルについて、保護者会で説明の場を設ける等し、周知や訓練につて日々改善に努めてまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3	・年1回だけでなく、月1回のペースの方が子どもも見に着きやすいのでは？	・年2回の訓練を行っています。 ・防災センターにて、地震の揺れの体験、消防署では救急車や消防車見学し実際放水車からの放水の練習を体験しました。 ・定期的な訓練を通して新しい情報も学び、安全性を高めていきたいと思えます。 ・月1回の開催は避難訓練のマンネリ化にならないか心配なので訓練を、火災、地震、不信者に分けての訓練を検討します。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14		・とても楽しみにしている。(2) ・楽しみにしている。	・今後も、子ども一人ひとりの寄り添い、丁寧な支援を心掛け、子ども達が安心して楽しく通える事業所を目指していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	14		・満足しています。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。